



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月12日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 平成30年10月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	167,277	8.0	6,034	10.6	6,267	8.0	4,039	1.2
30年2月期第2四半期	154,925	11.9	5,456	15.8	5,801	19.6	3,990	47.2

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 1,299百万円(△83.0%) 30年2月期第2四半期 7,661百万円(75.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	127.58	—
30年2月期第2四半期	133.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	170,924	87,036	47.5
30年2月期	156,649	86,552	51.6

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 81,191百万円 30年2月期 80,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	19.00	—	24.00	43.00
31年2月期	—	28.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	10.6	12,000	9.5	12,500	8.9	8,200	5.7	258.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	32,267,721株	30年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	600,362株	30年2月期	603,248株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	31,665,230株	30年2月期2Q	29,930,836株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益が堅調を維持し、それに伴い雇用状況も改善しつつあることから、全般的に持ち直しつつあると考えられます。しかしながら、原材料費や人件費などのコストアップ要因や国際的な貿易戦争への懸念もあり、予断を許せる状況ではありません。当食肉業界におきましては、国際的な食品需給バランスが不安定化している中で、安定的な経営を続けにくい環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、食肉の生産から卸売、食肉製品の製造、さらに小売・外食に至る食肉関連事業を一貫してグループ内で行う垂直統合を更に進化させていくことにより、経営の安定と事業の成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、継続して取り組んでいる食肉生産部門での経営強化、食肉加工部門と卸売部門の連携緊密化を着実に進めました。米国では、高級品種アンガスビーフに特化した「オーロラアンガスビーフ」の品質向上施策の実施、北海道では、豚肉ブランド「ゆめの大地」の生産基盤の拡充を進めました。また、「こてっちゃん」の販売強化に向けた各種キャンペーンの実施など加工食品の積極的な販促企画に取り組みました。さらに、グループ内の加工部門会社と共に互いの製造機能、販売機能を相互に連携させ、販売チャネルに合わせた営業戦略を展開しました。首都圏での販売力強化を目指した船橋市における拠点整備も順調に進めております。

食肉等の小売事業においては、イベント型の提案販売やレイアウト再構築等の既存店活性化を継続実施した他、生産性向上のために作業工程の見直し、適正な人員配置のためのシフトコントロールを強化しました。また、既存店の改装や不採算店の閉鎖、新規ディベロッパーとの取り組みによる新店開発や新業態での新規出店等、各種施策を推進してまいりました。

食肉等の外食事業にあつては、ステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策及び共同の大型店開発等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,672億7千7百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益60億3千4百万円（前年同四半期比10.6%増）、経常利益62億6千7百万円（前年同四半期比8.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益40億3千9百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### ①食肉等の製造・卸売事業

売上高は1,519億7千2百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント利益は59億4千5百万円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

#### ②食肉等の小売事業

売上高は108億1千4百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は5億3千6百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

#### ③食肉等の外食事業

売上高は37億6千9百万円（前年同四半期比0.0%増）、セグメント利益は1億3千4百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

#### ④その他

売上高は7億2千1百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は6千5百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて142億7千5百万円増加し、1,709億2千4百万円となりました。これは主に、保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少の一方で、売上高増加に伴う売上債権、たな卸資産の増加、設備投資に伴う土地・建設仮勘定の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて137億9千1百万円増加し、838億8千7百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の減少の一方で、売上高増加に伴う仕入債務の増加及び借入金の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて4億8千4百万円増加し、870億3千6百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少の一方で、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期通期の業績予想につきましては、本年4月13日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,328	36,613
受取手形及び売掛金	31,243	38,739
商品及び製品	16,230	18,260
仕掛品	970	946
原材料及び貯蔵品	2,648	2,629
その他	4,024	4,543
貸倒引当金	△162	△156
流動資産合計	91,283	101,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,296	37,380
減価償却累計額	△22,184	△22,629
建物及び構築物 (純額)	14,112	14,750
土地	14,204	16,091
その他	28,479	33,469
減価償却累計額	△19,729	△20,252
その他 (純額)	8,749	13,217
減損損失累計額	△1,690	△1,628
有形固定資産合計	35,375	42,431
無形固定資産		
のれん	174	272
その他	387	377
無形固定資産合計	561	650
投資その他の資産		
投資有価証券	26,107	23,018
退職給付に係る資産	311	308
その他	3,206	3,168
貸倒引当金	△196	△228
投資その他の資産合計	29,428	26,267
固定資産合計	65,366	69,348
資産合計	156,649	170,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,648	29,527
短期借入金	8,010	9,390
未払法人税等	1,743	1,934
賞与引当金	915	957
その他	9,607	10,456
流動負債合計	43,924	52,265
固定負債		
社債	850	1,300
長期借入金	15,723	22,023
役員退職慰労引当金	328	196
退職給付に係る負債	2,058	2,115
その他	7,211	5,986
固定負債合計	26,172	31,622
負債合計	70,096	83,887
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,675	18,691
利益剰余金	44,588	47,868
自己株式	△423	△421
株主資本合計	67,138	70,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,224	10,371
繰延ヘッジ損益	△10	10
為替換算調整勘定	437	367
退職給付に係る調整累計額	12	4
その他の包括利益累計額合計	13,664	10,753
非支配株主持分	5,749	5,845
純資産合計	86,552	87,036
負債純資産合計	156,649	170,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	154,925	167,277
売上原価	131,918	143,104
売上総利益	23,006	24,173
販売費及び一般管理費	17,550	18,139
営業利益	5,456	6,034
営業外収益		
受取利息	20	17
受取家賃	64	76
受取配当金	212	266
その他	233	219
営業外収益合計	531	580
営業外費用		
支払利息	100	107
為替差損	—	152
賃貸原価	28	31
その他	57	56
営業外費用合計	186	347
経常利益	5,801	6,267
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	31	81
補助金収入	—	35
その他	—	6
特別利益合計	33	127
特別損失		
固定資産処分損	36	26
減損損失	100	50
店舗閉鎖損失	0	8
その他	—	9
特別損失合計	137	96
税金等調整前四半期純利益	5,697	6,298
法人税等	1,424	2,099
四半期純利益	4,273	4,198
非支配株主に帰属する四半期純利益	282	158
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,990	4,039

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	4,273	4,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,537	△2,840
繰延ヘッジ損益	△9	21
為替換算調整勘定	△185	△63
退職給付に係る調整額	44	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△7
その他の包括利益合計	3,388	△2,898
四半期包括利益	7,661	1,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,363	1,129
非支配株主に係る四半期包括利益	298	170

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,697	6,298
減価償却費	1,521	1,612
減損損失	100	50
のれん償却額	22	29
支払利息	100	107
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	19
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△34	20
受取利息及び受取配当金	△233	△283
売上債権の増減額(△は増加)	△6,391	△7,538
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,515	△1,962
仕入債務の増減額(△は減少)	4,454	5,881
未払消費税等の増減額(△は減少)	△295	△117
その他	219	168
小計	1,662	4,289
利息及び配当金の受取額	240	281
利息の支払額	△99	△97
法人税等の支払額	△2,076	△1,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	△271	2,984
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△200	△0
有形固定資産の取得による支出	△3,997	△8,586
無形固定資産の取得による支出	△42	△29
投資有価証券の取得による支出	△285	△1,147
投資有価証券の売却による収入	309	148
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△146	—
貸付けによる支出	△1,034	△936
貸付金の回収による収入	504	156
吸収分割による支出	—	△509
その他	38	66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,854	△10,837
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	626	1,380
長期借入れによる収入	3,690	8,738
長期借入金の返済による支出	△1,612	△1,512
社債の発行による収入	978	487
社債の償還による支出	—	△50
配当金の支払額	△505	△758
非支配株主への配当金の支払額	△77	△76
その他	△56	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,043	8,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,077	284
現金及び現金同等物の期首残高	35,441	35,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,363	35,595

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	139,268	11,205	3,768	154,242	682	154,925	—	154,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,339	36	197	4,573	80	4,654	△4,654	—
計	143,608	11,242	3,966	158,816	763	159,579	△4,654	154,925
セグメント利益	5,170	538	257	5,966	67	6,033	△576	5,456

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△576百万円には、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△547百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	151,972	10,814	3,769	166,556	721	167,277	—	167,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,135	28	193	4,357	95	4,452	△4,452	—
計	156,107	10,842	3,963	170,914	816	171,730	△4,452	167,277
セグメント利益	5,945	536	134	6,616	65	6,682	△647	6,034

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△647百万円には、セグメント間取引消去△20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な該当事項はありません。